

ごへんち

～すべては子どもの笑顔のために～



二戸市立御返地小学校

第20号

令和5年11月28日



歯科に関するお話～天日先生より～

11月21日(火)に3年生～6年生が歯科に関するお話を学校歯科医の先生から聞きました。先生は、長年御返地小学校の子どもたちの歯の健康について指導して下さっています。

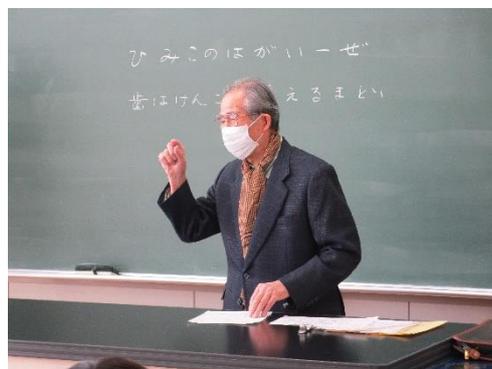
「歯はけんこうが見えるまで」「ひみこのはいーぜ」というキャッチフレーズがあり、一文字一文字の歯の予防についての言葉を確認しました。

外で遊ぶことは、陽にあたる、視力低下防止、そしてぐっと歯を食いしばることなど、良いことがたくさんあるんだということも改めてお話いただきました。

かむことは、脳への刺激がいきかしくなることや、発音に影響することを教えてくださいました。

歯科検診もしてもらいましたが、全体的にはきれいだというお話でした。

むし歯がある人は早めに治療し、自分の体の健康を保ちましょう。



図書祭り 読み聞かせ堪能しました

11月24日(金)図書祭りが開かれました。今年も読み聞かせボランティアグループ「花ぐるま」様においでいただきました。始まりの会の後、1年～3年グループと4年～6年グループに分かれて読み聞かせをしていただきました。

1年～3年グループは、「にじいろのさかな」「スーツケース」「子どもかいぎ」「ごきげんななめのとんとうむし」の4冊を読んでいただきました。

4年～6年グループは、「いのちの木」「コーネリアス」「もちもちの木」「くじらだ」の4冊を読んでいただきました。大きなサイズの本は、普通サイズの本に比べて圧巻でした。

短い時間ではありましたが、心が温くなる豊かな時を過ごすことができました。

「花ぐるま」の皆さん、素敵な読み聞かせを本当にありがとうございました。

花ぐるまのみなさん、ありがとうございました。



このぐらいの大きさで



赤ちゃんをみると笑顔



命のはじまいの大きさ



～命の授業～



保健相談士、助産師さんから～

3～6年生は、11月17日（金）に助産師さんと思春期保健相談士さんに来ていただき、「一人にひとつ大切な命」という授業をしていただきました。

授業の初めに、みんなの「名前の由来」を聞きました。そして、命の初めの大きさを実際に見ました。最初は0.1mしかないのが、日数が経過するにつれて大きさや重さが変わっていくのを手で持って体感しました。お家の人が書いてくださった産まれた時のエピソードから、助産師さんが「こういう状況だったから、こういうことをしたんだね。」とお話をしてくださいました。

自分の力と、お母さんの力で生まれてきたことを みんなで、考える豊かな時間となりました。

「生まれてきた赤ちゃんを見たら、みんな笑顔になるんだな。」「お母さん、産んでくれてありがとう」など、子ども達の感想にありました。心が温かくなりました。

薬物乱用防止教室

11月16日（木）、5、6年生は、学校薬剤師の先生から、「飲酒（お酒を飲むこと）・禁煙（タバコを吸うこと）・薬物乱用が健康にどのような影響を与えるかを学びました。

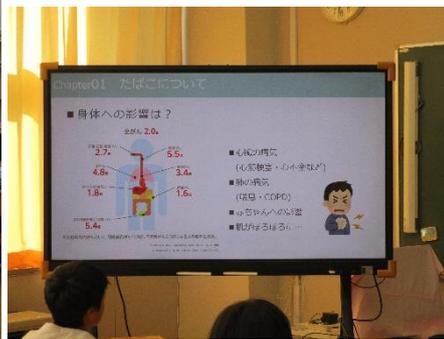
飲酒・喫煙どちらも、なかなかやめることができなくなる、依存性があることや、飲酒を続けると、心臓や肺の病気になる可能性があることのお話を聞きました。

また、薬物にも依存性があることや、持っているだけでも、法律に触れることも学びました。薬物は、脳へダメージを与え、脳が部分的に小さくなってしまふことも知りました。

喫煙を続けると、心臓や肺の病気になる可能性があることや、吸っていない人に比べると、肺やのど、食道、尿路など様々な臓器のがんになる割合が高くなることを学びました。

はっきり、きっぱり断ります！！

お酒やたばこの体への影響をしっかりと理解し、自分の健康について考えることが薬物乱用防止につながることを学びました。



の健康について考えることが薬物乱用防止につながることを学びました。